

NPO法人コンカリーニョ 2020 年度事業報告

1. 事業の成果

昨年度下四半期同様、コロナ禍の影響を大きく受ける1年となった。現場は、刻々と変化する感染状況に伴い、感染対策、顧客対応等に神経を使いつつ、業務にあたり、大きな不備や事故もなく無事に終わることができた。また、各種公的制度を活用し、資金繰りの面でも何とか持ちこたえることができた。耐え忍ぶ1年間でした。

<2020 年度トピック>

- ・ パトス1年以上、再開の見通し立たず)
- ・ コロナ以前と比較して、コンカリーニョ 5 割、パトス 0 (ゼロ)、あけぼの 8 割
事業収入：コロナ以前 (16 期、2018 年度) の 56%、25,636 千円減収

【2020 年度での助成金等支援 (コロナ支援)】

クラウドファンディング 2 件 小劇場エイド、全国小劇場ネットワーク

家賃給付金、雇用調整助成金、さっぽろアトラライブ事業、札幌市さぽーとほっと基金助成事業、札幌市文化芸術活動再開支援事業、北海道ライブエンターテインメント連絡協議会、文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」

2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 施設運営事業 事業費 35,760 千円

A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

事業計画通り、コロナ禍における劇場での感染対策、ルール等を整理、書面化、周知することができた。(ガイドライン/入館手順/消毒手順/受付の方法/契約書関係等)

7 月、8 月はコロナ禍になってから初めての大きな公演である「札幌演劇シーズン」が開催された。何もかもが手探りのなか、考えうる限りの感染症対策をして臨み、無事大きなトラブルもなく全公演を終えることができた。

9 月以降は有観客での催しはほとんどが中止となったが、札幌市の助成金「さっぽろアトラライブ」を利用しての「無観客収録/配信」を目的とする利用がぐんと増えた。コンカリーニョでも配信機材一式を揃えたが、思いのほか活用できずにいる。

雪が降ってからは、『寒い時期の検温』に苦しめられた。ロビーの気温が低すぎて接触体温計ですら使えないことが発覚。試行錯誤しながら、なんとかギリギリのところで切り抜けたという感じだった。検温に関しては今年の 6 月にサーマルカメラを購入し、かなり楽になったので、あとは冬になっても同じように使えることを願うばかりである。

レンタルが少なかった分、劇場の壁や平台の色を塗り直したり、物の整理整頓、トイレを綺麗にしたり等、劇場メンテ、整備をおこなうことができた。

		前年度比
利用率	33.2%	1.9%減
プログラム数	30 本 (中止 29 本)	24 本減
総利用者数	4,369 人	77.2%減
事業費	14,848 千円	2.6%増

B) ターミナルプラザことにパトス

換気がしづらい地下 2F という立地のため、1 年間、ホール稼働できず。4 月になってやっと、空調の能力調整工事が終わり、6/1～定員の 50%でのホール利用が可能になった。感染対策用品等、ガイドラインも整備済み。

ホール稼働率	0%	44.1%減
プログラム数	0 本 (振替 3 本) (中止 19)	100 本減
総利用者数	0 名	100%減
事業費	2,309 千円	58.4%減

C) あけぼのアート&コミュニティセンター

第 3 期管理運営期間の 4 年目は、入居団体との協働による地域向け事業の拡充など、施設の活性を目指し、第 4 期 (2021 年～25 年の 5 年間) の管理運営委託のプロポーザルにて、運営委託業者として、採択され、引き続き、管理運営を担うこととなった。

		前年度比
利用率(長期)	95.7%	2.3%増
(一般貸室)	51.5%	4.4%減
総利用者数	34,173 人	31.3%減
事業費	18,594 千円	2.9%増

貸室全体の稼働率は、新型コロナウイルスの影響により、全体平均で 4.4%減少した。特に校舎棟貸室 3 室は、当初 13 団体あった定期利用団体が、コロナ禍による解約で減少、多様なジャンルでの利用に繋がらず、また吹奏楽、合唱など、人数制限や声を出せない団体の長期キャンセルも打撃となった。一方体育館は、札幌市内の他の施設、学校開放などの利用が出来ない事情が影響し、稼働率向上へ繋がるという結果となった。

長期貸室は全室入居予定だったが、新型コロナの影響で 1 室が空き室となり、4 団体の利用があった。「地域とアートの連携事業」は、イベント事業「あけぼの学校祭」、地域交流事業「あけぼの de クリスマス音楽祭」共に、入居団体との協働で前年度を上回る成果をめざしたかったが、新型コロナの影響により中止となり、「アイロンビーズ講習」、「あけぼの YOSAKOI チーム」も、子ども達の放課後利用中止、サマーフェスティバル中止に伴い、開催、活動を中止とせざるを得なかった。

主な事業		
8 月 2 日		サマーフェスティバル ※新型コロナにより中止
12 月 12 日		あけぼの de クリスマス会 ※新型コロナにより中止
アイロンビーズ講習	6 月～9 月 月 1 回 全 4 回	※新型コロナの影響により中止
通年 ※4/14～5/31 緊急事態宣言発出により閉館	○あけぼのファーム活動 2 団体、12 個人登録 ○図書ボランティア 8 名登録、総利用登録 233 名 蔵書 4,490 冊、年間貸出書籍数 887 冊、総利用者数 451 名	

○入居者会議 奇数月第 2 火曜日と第 2 水曜日 交互に (6 回) 臨時入居者会議 (1 回)

※新型コロナの影響により 5 月開催が中止、4 月臨時入居者会議も中止した。

○地域連絡協議会 1 回 (1 月 28 日) ※新型コロナの影響で 4 月開催を延期、前期、後期併せ開催した。

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧 4 回 (8 月、11 月、2 月、6 月)

II. 企画事業

事業費 2,594 千円、総来場者数 1,373 名

(ほか配信等非接触にて 5,084)

8月1日～8日	札幌演劇シーズン 2020 夏 y h s 「ヘリクツイレブン」	8st 470 名
8月12日～18日	札幌演劇シーズン 2020 夏 劇団怪獣無法地帯「ねお里見八犬伝」	10st 456 名 +配信 152 名
9月2日	玉川健一郎 with 南山雅樹カルテット「夏忘れ! September Jazz」	1st 49 名 +配信 72 名
10月10日 ～3月31日	【さっぽろアートライブ】小林エレキ一人芝居集「せっかくなんで」 プロデューサー：斎藤ちず/脚本・出演：小林エレキ	再生回数 1,335
1月15日 ～3月31日	【札幌市さぽーとほっと基金助成事業】えんげきたいけんキット プロデューサー：藤谷真由美 脚本・演出：立川佳吾（トランク機械シアター）、井上悠介（きつとろんどん）	3,000 セット 無料配布
2月4日～11日	札幌演劇シーズン 2021 冬 劇団 coyote 「優しい乱暴」	8st 398 名 +配信 525 名

主催事業 3 本、参画実行委員会主催 3 本

III. 出前派遣事業

事業費 1,961 千円

1～2 月 さっぽろボードレスライブアーツキャラバン

- ・特殊詐欺防止劇 上演と配信（新作を含む）
- ・まちなかシアター in チカホ

3 月 14 日 チカチカ☆パフォーマンススポット final stage

IV. 共通事業

○会員郵送(150 部*1 回)

○メルマガ発行

○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第 2 月曜日 19:00～ 5 回（7 月、11 月、1 月、3 月、5 月）

スタッフ MTG

各セクション MTG

(2) その他の事業 該当なし